

平成28年度事業計画が決定

3月2日開催の平成27年度第2回理事会及び平成27年度評議員会の決議の省略（第3回）において、平成28年度の実業計画及び収支予算が承認されました。

◆第2回理事会の決議事項

- 1 平成28年度事業計画及び収支予算の承認について
- 2 平成27年度第2回評議員会の招集について

◆第2回評議員会の決議事項

- 1 平成28年度事業計画及び収支予算案の承認について
- 2 評議員の選任について

以下に事業計画の一部を抜粋して報告します。

平成28年度事業計画

I 重点的な取組方針

- 2015年の訪日外国人数が過去最高の1,973万7千人に達し、インバウンドは依然好調を維持しているとともに、2020年オリンピック・パラリンピック東京大会の開催に向けた観光振興の機運の盛り上がりは、財団事業を効果的に展開する絶好の機会であることを捉え、賛助会員を中心とした観光関連業界のニーズを十分把握し、緊密な連携を図りつつ事業展開していきます。
- 事業の推進においては、東京のブランディング戦略を踏まえた事業構築を図るとともに、2020年オリンピック・パラリンピック東京大会後も見据えた長期的なビジョンを持った取り組みとします。

II 公益目的事業

1 海外からの旅行者誘致に関する事業

- (1) 観光マーケティング事業〈東京都受託事業〉
 - (2) オリンピック・パラリンピックを契機とした東京観光PR（一部新規）〈東京都受託事業〉
 - (3) リオデジャネイロ五輪を活用したPR（新規）〈東京都受託事業〉
リオデジャネイロ五輪の注目度を活用し、現地において東京ブランドを前面に押し出したPRを行い、東京ブランドの認知を高め、訪都旅行者の更なる拡大を図ります。
 - (4) 東京観光レップの運営〈東京都受託事業〉
 - (5) 民間事業者と連携した旅行者誘致事業〈東京都負担金事業〉
 - (ア) 旅行博等への出展等
 - (イ) 民間企業とのジョイントプロモーション
 - (ウ) パンフレットの制作
 - (エ) 東京ニュースの配信
 - (オ) 東京観光レップ主催、旅行事業者向けセミナーの実施
 - (カ) 海外メディア招聘
 - (キ) 海外旅行事業者招聘
 - (6) 有望市場におけるプロモーション事業（一部新規）〈東京都受託事業〉
 - (ア) インドにおけるプロモーション
 - (イ) ベトナム、インドネシア及びフィリピンにおけるプロモーション（一部新規）
 - (7) 東京から日本の魅力新発見事業（一部新規）〈東京都負担金事業〉
 - (8) 地方連携参画型広域プロモーション（新規）〈東京都受託事業〉
増加する個人旅行者の多様なニーズに対応し、他自治体からの要望に応じて共同でのプロモーション事業に参画できるスキームを構築し、東京と他自治体双方への観光客誘致と観光振興を推進します。
 - (9) ビジット・ジャパン（VJ）地方連携事業
 - (10) 海外青少年の教育旅行受入促進事業〈東京都受託事業〉
 - (11) 情報の発信、共有及びネットワークの拡大
 - (ア) ニュースレターの発行
 - (イ) 各種セミナー・商談会等への参加
- ##### 2 コンベンション誘致に関する事業
- (1) ビジネスイベントマーケティング調査・分析等業務（一部新

- 規）〈東京都受託事業〉
 - (ア) 企業系ビジネスイベントのマーケティング調査・分析
 - (イ) KPIによる効果測定（一部新規）
- (2) 国際会議誘致・開催支援事業（一部東京都受託・補助金事業）
 - (ア) 国際会議誘致支援
 - ① 誘致マーケティング活動
 - ② 誘致プロモーション活動
 - ③ 学術系国際会議誘致促進〈東京都補助金事業〉
 - (イ) 国際会議開催支援
 - ① 参加促進への支援活動〈東京都受託事業〉
 - ② 開催運営への支援活動
 - ③ 国際会議開催支援プログラム〈東京都受託事業〉
 - (ウ) 国際会議誘致・開催資金助成等事業（一部新規）〈東京都出資金事業〉
 - ① 国際会議誘致支援
 - ② 国際会議誘致・開催支援
 - (エ) コンベンション統計事業
- (3) 企業系ビジネスイベントの誘致開催支援事業（一部新規）〈一部東京都補助金事業〉
 - (ア) 海外トレードショーへの出展
 - (イ) 企業系ビジネスイベント誘致支援事業〈東京都補助金事業〉
 - (ウ) 企業系ビジネスイベント開催支援事業〈東京都補助金事業〉
 - (エ) 企業系ビジネスイベント開催支援メニュー開発（新規）〈東京都受託事業〉
- (4) 展示会・イベント誘致・開催支援事業（新規）
 - (ア) 展示会における海外参加促進支援（国際化支援）〈東京都補助金事業〉
東京で開催される展示会へのインバウンド増加を促進するため、ブース出展費、ギブアウェイの制作費の助成や、観光PRリーフレットの提供等の支援を行うことで東京の魅力をアピールします。
 - (イ) イベント誘致・開催資金助成〈東京都出資金事業〉
 - ① イベント誘致資金助成
 - ② イベント開催資金助成・開催支援
- (5) ビジネスイベント情報発信（一部新規）〈一部東京都補助金事業〉
 - (ア) コンベンション開催情報発信
 - (イ) 企業系ビジネスイベント販促ブックレットの作成〈東京都補助金事業〉
 - (ウ) 広告掲載によるPR強化〈東京都補助金事業〉
 - (エ) 国内企業向け開催支援セミナー〈東京都補助金事業〉
 - (オ) MICEファムトリップ〈東京都補助金事業〉
 - (カ) 海外ミーティングプランナーとのネットワーク構築（新規）〈東京都補助金事業〉
 - (キ) 訪問営業（セールスコール・ロードショー）の実施（新規）〈東京都補助金事業〉
 - (ク) ビジネスイベントプロモーション映像制作（新規）〈東京都補助金事業〉
 - (ケ) 東京の強み紹介パンフレット制作（新規）〈東京都補助金事業〉
- (6) ビジネスイベントプロモーション基盤の構築〈東京都補助金事業〉
- (7) ユニークベニュー利用促進事業（一部新規）〈東京都受託事業〉
 - (ア) ユニークベニュー利用促進プログラムの提供〈東京都受託事業〉
 - (イ) ユニークベニューの施設等状況調査（新規）〈東京都受託事業〉
- (8) 多摩・島しょの観光資源を活用したビジネスイベント開催支援（新規）〈東京都受託事業〉
国際会議や報奨旅行等の開催時の都内観光ツアーや体験メニュー等の支援メニューとして多摩・島しょ地域のメニューを開発し、主催者や参加者の満足度向上を図り、ビジネスイベント参加者が多摩・島しょ地域を訪れる機会を創出します。

- (9) 東京ビジネスイベント先進エリア支援事業〈東京都受託事業〉
(10) ビジネスイベント受入環境に関する調査（新規）〈東京都受託事業〉

ビジネスイベント関連事業者の連携を通じた効果的な誘致活動を進めるため、都内における関連施設の立地・集積状況等を調査すると共に、ビジネスイベントの受入や事業者連携に関する課題等を整理し、今後の受入環境整備に資する検討を行います。

- (11) 都市間連携によるビジネスイベント誘致の推進（新規）〈東京都補助金事業〉

報奨旅行等において、効果的に主催者へのセールスを行うため、国内の有望な都市・コンベンションビューロー等と連携体制を構築し、PRパンフレットの作成やファムトリップの実施などのセールス活動を共同で行います。

- (12) MICE専門人材育成事業（一部新規）〈東京都負担金事業〉

3 地域の観光振興に関する事業

- (1) 観光団体・民間事業者等との連携による地域振興〈一部東京都補助金事業〉

(ア) 地域振興助成〈東京都補助金事業〉

(イ) 東京トラベルマート、観光情報交換会の開催

(ウ) 観光団体等との連携

(エ) 観光資源商品化支援事業〈観光振興基金事業〉

- (2) 東京シティガイド検定の実施

- (3) 東京ロケーションボックスの運営〈東京都受託事業〉

- (4) 被災地応援ツアー等の実施〈東京都出資金・一部受託事業〉

- (5) 魅力を高める観光資源の開発事業の実施

(ア) 多摩・島しょ魅力発信事業（新規）〈東京都受託事業〉

多角的かつ集中的なプロモーションにより、多摩・島しょ地域へのさらなる誘客を図ります。

① WEB等メディアと紙媒体による情報発信

② 誘客促進イベントの実施

- (イ) 多摩・島しょ地域旅行商品造成・販売支援事業（新規）〈東京都出資金事業・一部受託事業〉

外国人が海外でも購入可能な多摩・島しょ地域の着地型旅行商品の提供を推進することにより、外国人旅行者を増加させ、多摩・島しょ地域への誘客を図ります。

① 旅行商品の造成支援

② モニターツアーの実施

③ 旅行商品の販売支援

- (ウ) 多摩・島しょ地域内観光交通支援事業（新規）〈東京都受託事業〉

地域内の移動アクセス手段が比較的不便な多摩地域・島しょ地域の観光資源を活かした交通手段確保型旅行商品のモニターツアーと、モニターツアーの結果を活用した実証実験を企画・実施します。

- (6) 観光まちづくりの支援事業の実施

(ア) 地域における観光まちづくりの支援（新規）〈東京都受託事業〉

観光協会等に対し、地域主導の自主的な活動を充実させ、東京全体の観光産業振興の底上げと観光を通じた地域の活性化につなげます。

① 観光活性化フォーラムの開催

② 学生インターン事業

③ 観光人材育成支援事業

- (イ) 水辺のにぎわい創出事業（新規）〈東京都出資金事業〉

観光関連団体や水辺活動団体等が行う水辺のにぎわいを創出する事業に要する経費の一部を補助します。

- (7) 受入環境インフラの整備〈東京都出資金事業〉

(ア) 観光インフラ整備支援事業

① 区市町村観光インフラ整備支援

② 観光施設の国際化支援

③ 宿泊施設に対する外国人旅行者の受入環境整備支援（一部新規）

④ 宿泊施設でのバリアフリー化の推進

- (イ) 観光バス等バリアフリー化支援事業（新規）

障害者や高齢者が、安心して都内観光を楽しめる環境を整備するため、リフト付観光バスの導入支援など、ハード及びソフト両面での受入環境整備を推進します。

(ウ) 東京ひとり歩きサイン計画

(エ) デジタルサイネージを活用した観光情報提供事業

(オ) 外国人旅行者に対するWi-Fi利用環境整備事業

4 観光情報の発信に関する事業

- (1) 東京ブランドの推進事業（一部新規）〈東京都受託・負担金事業〉

旅行地としての東京を強く印象づける「東京ブランド」を確立していくため、民間事業者等と連携しながら東京ブランドを推進していく枠組みを新たに立ち上げるなど、東京ブランドを国内外に向けて広くPRし、東京ブランドの浸透を図ります。

- (2) ウェブサイトによる情報発信〈東京都補助金事業〉

画面比率やサイズに応じて表示を最適化する「レスポンシブウェブデザイン」を27年度の英語サイトに引き続き日本語、中国語（簡体字、繁体字）、韓国語に適用します。

- (3) SNSによる情報発信〈東京都補助金事業〉

- (4) ウェルカムカードの製作〈東京都補助金事業〉

- (5) 東京観光情報センター等の管理運営〈東京都受託事業〉

東京観光情報センターについては、増加する海外旅行者等への対応を充実させるため、都内4箇所（都庁本部、京成上野支所、羽田空港支所、新宿南口支所）において観光情報センターを運営します。

- (6) 広域観光案内拠点等の整備及び運営（新規）〈東京都出資金事業、一部受託事業〉

都内の観光案内機能充実を図るため、外国人旅行者が多く訪れる10地域において、広域観光案内拠点を整備するとともに、都内全域では観光案内窓口を整備します。

また、広域観光案内拠点及び観光案内窓口が国内外の旅行者に対し都内の観光情報を円滑に提供できるよう、統一したロゴマークの整備・掲出やデジタルサイネージの整備等を行います。

- (7) 観光ボランティアの管理運営〈東京都受託事業〉

- (8) おもてなし親善大使育成塾〈東京都受託事業〉

- (9) 東京マラソン応援観光マップの作成・臨時観光案内所の設置運営〈東京都受託事業〉

- (10) マラソン祭りフォトコンテストの実施

- (11) 多言語メニュー作成支援ウェブサイトの運営〈東京都受託事業〉

- (12) TCVB活動の広報に関する事業

5 会報発行事業

- (1) 会報等の発行

(ア) 会報「TCVB NEWS」の発行（年4回）

(イ) 「TCVBメール速報」の配信（週1回程度）

◆予算 総額 6,558百万円

予算の執行管理には十分留意し、引き続き財政運営の健全化に努めます。

平成28年4月1日付 幹部人事及び組織改正のお知らせ

幹部人事異動

常務理事（総務部長） 小平 基晴

常務理事（地域振興部長） 荒木 時雄

常務理事（観光事業部長） 藤嶋 信章

コンベンション事業部長（誘致事業課長兼務） 戸田 加寿子

総務部次長兼観光情報課長 白鳥 靖子

地域振興部次長兼事業課長 霜崎 敏一

地域振興部次長兼観光インフラ整備課長 佐藤 拓也

総務部経営管理担当課長 中川 遠賀

総務部東京観光情報センター所長 吉永 喬

組織改正

急速な事業拡大に対応するため、事業の関連性等をふまえ、効率的な組織に再編整備し、3部体制（総務部、観光事業部、コンベンション事業部）から4部体制（総務部、地域振興部、観光事業部、コンベンション事業部）とします。

【主な改正内容】

(1) 地域振興部を新設（「事業課」「観光インフラ整備課」の2課体制とします）

(2) 企画広報課を廃止し、観光情報課を設置します。

(3) 経営管理担当課長を総務課付に再編します。

ビジネスイベント誘致支援事業の強化

一展示会国際化支援事業と国際イベント誘致支援事業が新たにスタート

当財団では、ビジネスイベントの東京への更なる誘致を目的として、以下3件のMICEに関する誘致・開催支援事業について4月1日より申請受付を開始しました。いずれも開催地決定前に申請・登録が必要となります。詳しくは、各担当までお問い合わせいただくか、コンベンション事業部のウェブサイトをご覧ください。<http://businesseventstokyo.org/ja/>

① 展示会国際化支援事業&国際イベント誘致・開催支援事業
平成28年度より新設されました。「展示会国際化支援事業」は、東京で開催される展示会に海外からの参加者を増加させ、展示会の国際化を図る展示会主催者に、PR活動に伴う経費を助成いたします。

「国際イベント誘致・開催支援事業」は、東京が開催候補地となっている国際イベントの主催者に対し、誘致活動経費、国際イベントの開催資金の一部助成及び開催を支援するプログラムを提供いたします。

② コンベンション誘致・開催支援事業

「コンベンション誘致資金助成」、「コンベンション開催資金助成」及び「コンベンション開催支援プログラム（誘致支援事業）」の3種類で構成され、東京が開催候補地となっている一定の基準を満たした国際会議の主催者に対し、その誘致活動経費及び国際会議の開催資金への一部助成や開催を支援するプログラムを提供することにより、東京への国際会議の誘致を促進するものです。

③ 報奨旅行等誘致・開催支援事業

東京を開催地として検討している企業の報奨旅行、会議等で一定の基準を満たしたイベントに対し、事前視察時のサポートやイベント開催時のアトラクション派遣など様々な支援を提供するプログラムです。（コンベンション事業部）

MICEグローバル人材育成講座 本年度も実施します

当財団では平成27年度『MICEグローバル人材育成講座』の後期講座である＜インセンティブ受入のためのおもてなし向上～2020年オリンピック開催に向けて～＞全6回を実施しました。日頃インセンティブツアーの誘致・開催に第一線で携わる様々な業界の講師による事例を交えた講義に、参加者は自身の業務・職場に置き換えて考え、熱心に聞き入っていました。

平成28年度も引き続き講座を開設する予定です。昨年同様【国際会議（C）】、【インセンティブ（I）】の他に【展示会（E）】をテーマとした講座も新設します。

参加は事前申込み制（有料）で、詳細は6月中旬頃に当財団HPにて発表予定です。（コンベンション事業部）

インセンティブ旅行向け 販促ブックレット配布開始

当財団では、インセンティブ及び企業会議の誘致を促進するため、平成26年度より販促のためのブックレットを作成、配布しています。最新版の「40 special ideas for Corporate Meetings and Incentive Travel」では、東京ならではのアクティビティ、アトラクション等を40件紹介し、東京開催の具体的なイメージを伝えるものとなっています。配布先は海外の主催者やプランナーのほか、誘致に関わる国内事業者の方々に販促支援ツールとしてご活用いただくことも想定しています。ご希望の方はコンベンション事業部までご連絡ください。（コンベンション事業部）



アジア太平洋肝臓病学会を支援



2月20日から4日間にわたり、グランドプリンスホテル新高輪国際館パミールにて第25回アジア太平洋肝臓病学会議年次総会（APASL2016）が開催され、世界各国より、4,200名を超える参加がありました。当財団は、東京都と協力し、本会議に対して会場・空港での観光案内デスク要員の派遣、空港や会場周辺への歓迎バナーの掲出、東京都ブースの出展、文化体験プログラム（茶の湯・着付）の提供等を行いました。東京都ブースでは、都内に拠点をもち、肝臓病治療のための医療機器等を取り扱う高砂医科工業とユニシスの出展を支援し、会議参加者とのビジネスマッチングの機会を提供しました。また、都内半日観光ツアーの他、東京の豊かな自然に触れる多摩ツアー、駒込病院を訪問するテクニカルツアーを実施し、参加者及び同伴者に東京の観光、文化、最先端技術に触れて頂きました。当財団では、平成28年度も大型国際会議に対して同様の支援を行う予定です。（コンベンション事業部）

フィリピンで東京観光プロモーションを実施

フィリピンからの訪日外国人旅行者数は、平成23年には63,099人でしたが、平成27年には268,300人となり急成長を遂げています。そのような急成長市場へ東京観光をプロモーションすべく、平成27年度はフィリピンを対象市場として、13年目になる東京観光プロモーションを実施しました。

都内及び千葉県内の観光事業者30社と共に、マニラのデュシタニホテルにて、EXCITING&TOKYOというテーマで観光セミナーや商談会を行いました。1月26日にはメディアセミナーを行い、24社14プロガー計42名の現地メディアが参加しました。27日は旅行会社向けの観光セミナー、分科会、商談会及びレセプションを行い、74社102名の現地旅行会社に参加頂き大盛況でした。平成28年度はインドで行う予定です。（観光事業部）



FOOD&TOKYOキャンペーンを実施

東京都はこの度、東京の「食」にスポットをあて、東京産食材や東京の食の多彩さ、東京で味わえる日本各地の食の魅力をPRする「FOOD&TOKYO」キャンペーンを実施しました。

① FOOD&TOKYO写真投稿キャンペーン

世界に伝えたい東京の食の魅力を、「&TOKYO」に言葉と写真、イラストなどを自由に組合せて募集。

② ムック「dancyuニッポンレシピ」における「FOOD&TOKYO」特集ムック「dancyuニッポンレシピ」（プレジデント社発行）で訪日外国人旅行者、東京を訪れる日本人観光客、さらに東京に住んでいる人に対し「FOOD&TOKYO」特集記事を掲載。

③ アンテナショップPRキャンペーン

都内にある自治体のアンテナショップと連携し、東京を訪れる外国人旅行者に向け、各ショップで販売されている各地の“お菓子”とその原材料となる名産品を通じて、全国各地の魅力をPR。

東京ブランド公式サイト：
<http://andtokyo.jp/>
FOOD&TOKYO
公式サイト：
<http://food.andtokyo.jp/>
（観光事業部）



欧州と東南アジアの旅行博に出展



欧州では1月20日～24日、東京都/当財団はスペイン・マドリードにおける旅行博FITUR 2015に初めて単独出展しました。また3月9日～13日、ドイツ・ベルリンにおける旅行博ITB 2015にも出展し、現地

BtoB、そしてBtoCに対して東京ブランドをモチーフにしたブースで、東京観光をアピールしました。

また東南アジアでは、タイ・バンコクにおけるTITF #18に2月17日～21日の5日間、またマレーシア・クアラルンプールにおけるMATTA FAIR Kuala Lumpur 2016に3月11日～13日の3日間出展し、合わせて都内事業者の方々と旅行会社に対するセールスコールを行いました。

ブース内では缶バッジ制作やゲストを呼んでのトークショー等、各種イベントも行い、連日大変盛況でした。

(観光事業部)

ワークショップとアジアセールス委員会開催

3月2日と25日、第2回及び第3回ワークショップを開催しました。第2回のテーマは「『コミケ』に増え続ける外国人参加者－オタクは東京を目指す」。有限会社コミケットの里見直紀氏、翻訳家の兼光ダニエル真氏に、外国人参加者を対象に初めて行ったアンケート調査結果をベースにご講演頂き、第3回開催ではトラベルボイス株式会社の鶴本浩司氏、株式会社trippieceの石田言行氏、及びJFG所属の通訳ガイドにお越し頂き、「変わる旅のスタイル：インバウンドの未来を考える」というテーマのもと講演頂きました。



また3月17日には、第3回アジアセールス委員会を、ぐるなび本社の会議室にて開催しました。テーマは「フィリピン・マーケットの現状と展望」とし、株式会社アティックツアーズの川上浩一氏より訪日市場現地最新動向を、株式会社K.I.D.A.の木田直美氏よりフィリピン人の特徴や習慣を講演頂くなどし、年度末にも拘わらず80名を超える方の参加があり、活況を呈しました。

(観光事業部)

「無印良品」と共同で 東京ブランドを世界へ発信！



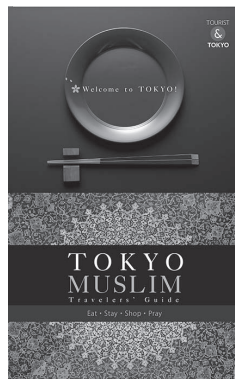
海外25の国や地域に店舗展開している「無印良品 (MUJI)」と共同で東京ブランドPR『MUJI 10,000 shapes of TOKYO』を実施しました。デザインと品質にこだわるMUJIの商品やブランドイメージを活用し、洗練された東京の魅力をPRしました。

台北及びニューヨークの店舗内に、無印良品の約10,000点もの販売商品を積み上げ、訪都外国人旅行者に人気の東京タワーや渋谷スクランブル交差点といった観光地や、東京をイメージする街並みを再現。またキャンペーンサイトを通じて、展示内容等を紹介しました。

URL: <http://tokyo.muji.com/>

(観光事業部)

ムスリム旅行者受入対応施設紹介リーフレット 「TOKYO MUSLIM Travelers' Guide」発行



3月4日、訪都ムスリム旅行者により快適な東京滞在を楽しんでもらうため、当財団は、ムスリム旅行者の受け入れに取り組んでいる施設を紹介するリーフレットを発行しました。リーフレットには、飲食店、礼拝施設、宿泊施設、物販店の計124施設を掲載。各施設が対応できるサービスを25種類のピクトグラムで紹介しています。東京観光情報センターで配布するほか、GO TOKYOデジタルパンフレットギャラリー

(<http://www.gotokyo.org/book/?la=en>) でもダウンロード可能です。

(観光情報課)

おもてなし親善大使がボランティア現場を体験

東京都では、2020年のオリンピック・パラリンピック開催に向け、訪日外国人旅行者に「東京に来てよかった」と思ってもらえるような対応力を身に着けた中高生ボランティア「おもてなし親善大使」の育成を行っており、平成27年までに334名が任命されました。任命後は様々な活動を通じて経験を積み、将来的には東京都観光ボランティアとしての活躍が期待されています。



親善大使の活動の一環として、昨年12月、東京都観光ボランティアが行っているサービス「街なか観光案内」の体験を実施しました。参加した親善大使は、指導役の観光ボランティアと一緒に新宿駅周辺で旅行者に声をかけ、道案内等に挑戦しました。参加者からは「外国人の目線から、行きたい所などを知れた」「観光ボランティアの方をみて、色々学ぶことができた」などの前向きな感想が多く聞かれ、「迷ったり、困ったりしている人を見たら声をかけようと思う」「英会話や観光スポットの学習に力を入れたい」といった今後の課題も上がりました。

また2月27日に行われた東京マラソンフレンドシップランでは、親善大使が、ゴールしたランナーへ昔ながらの日本のおもちゃの紹介や手渡しのボランティアを担当しました。ランナーの大半を占める外国人に、事前に学習した英語説明を駆使しながら、積極的に話しかけ一緒に楽しむ姿が見られました。

(観光情報課)

「マラソン祭りフォトコンテスト2016」 入賞作品を発表



当財団は、東京都との共催で今年もマラソン祭りフォトコンテストを実施いたしました。東京マラソンならびにマラソン祭りをモチーフとした200点以上の応募作品の中から、16点の入賞作品が決定しました。ランナーのほか、沿道の応援に着目した作品や、東京開催ならではの1シーンを見事に写した作品が選ばれています。作品は東京の観光公式サイト

GO TOKYOへ掲載するほか、当財団が行う観光振興事業等に活用される予定です。

写真：データ部門金賞「あなたに」百瀬俊介さん

(観光情報課)

観光情報交換会in東京タワー2016開催



2月17日に、東京タワーホールで観光情報交換会を開催致しました。観光協会（観光連盟）、自治体観光主管課及び観光関連事業者34団体が出席し、

各種メディアや旅行会社計43社約100人が来場。今回は、三宅島観光協会や台東区など7団体が初出展となりました。

このイベントは出展する観光協会側とメディア・旅行会社が一堂に会し、マッチングの機会を当財団が提供するもので、今回3回目の開催。また、観光情報交換会に先立ち多摩地域観光説明会を開催し、「多摩観光のニューパラダイム～新たな観光資源発掘と地域連携の動き」「御岳山の天空芸者ナイト」と題した講演会も実施しました。

（地域振興部）

第28回旅まつり名古屋2016

当財団は3月19・20日の2日間、名古屋市中区で開催された「第28回旅まつり名古屋2016」で、東京の観光PRを行いました。当日は東京都内区市町村、観光協会および観光・交通関連事業者から提供された観光パンフレット・ノベルティー等を来場者に配布し、また、伊豆諸島から小笠原諸島まで東京諸島11島が連携したPRブースでは、各島が地域特徴を生かした来場者参加型イベントや、メインステージでのPRを展開しました。来場者からは、東京のまだ知られていない観光スポット、季節イベント（花見・花火）の時期・場所などの問合せが多数ありました。

特に、浅草・上野・皇居周辺、東京スカイツリー・東京タワーなどの人気が高く、高尾山やまち歩き等も高い関心を集めていました。

（地域振興部）



平成27年度地域振興助成事業交付実績は16件

- 大多摩観光連盟／多摩げた食の祭典・大多摩B級グルメ
- 町田観光コンベンション協会／ホームページ多言語化事業
- 国立観光まちづくり協会／国立市国際観光マップ作成
- 大多摩観光連盟・奥多摩観光協会／ふるさと祭り東京2016出展
- 東京諸島観光連盟／旅まつり名古屋出展
- 中央区観光協会／東京マラソンEXPO2016出展
- 式根島観光協会／式根島観光パネル製作
- 大田区観光／多摩川の歴史遺産モータースポーツ発祥の地「多摩川スピードウェイ」回顧展
- 新島・式根島・神津島3島観光協会／3島プロジェクト（写真パネル制作）
- 府中観光協会／ふるさと祭り東京2016出展
- 日野市観光協会／外国人に向けた日野の魅力発信パンフレット制作
- 渋谷区観光協会／シンポジウムの開催
- 立川観光協会／立川アニメーション事業5周年記念イベント
- 狛江市観光協会／狛江イルミネーション
- 神津島観光協会／神津島のゆるキャラ「かんむりん」を用いたPRイベント@ふるさと祭り東京

○文京区観光協会／外国人観光客向け文京区まちあるきアプリ「漫步」告知宣材の作成（地域振興部）

東京ロケーションボックス活動報告

『JFC全国ロケ地フェア2016開催!』

2月8日にベルサール西新宿で「JFC全国ロケ地フェア2016」が開催されました。国内外のプロデューサーや監督等百数十名が来場し、全国10ブロックのブースでは、映画やドラマの誘致合戦が地域色豊かに繰り広げられました。その中で、東京ロケーションボックスは19の都内自治体用に「東京都ブース」を出展し、各地の様々な魅力をPRしました。新設した企業ブースには、映画とドラマのビジネス展開を視野に入れた4社（JR西日本や日本テレビの関連企業など）が出展しました。

今後も東京ロケーションボックスでは、東京発の映像で世界の人々を魅了することをめざしていきます。



『1月21日 香港大学生14名が来訪!』

杏林大学（八王子）との学校交流で来日した香港科技大学生が東京ロケーションボックスを訪問。ジャパンフィルムコミッションと東京ロケーションボックスが、東京及び日本のフィルムコミッションと映画制作事情を説明しました。

（東京ロケーションボックス）



高機能型観光案内標識（デジタルサイネージ）「DISCOVER & TOKYO」稼働開始



観光インフラ整備課では、東京都観光部と共に、外国人旅行者の利便性向上を目的に、街なかで観光情報などを多言語（日・英・中・韓）で提供する、高機能型観光案内標識（デジタルサイネージ）「DISCOVER & TOKYO」のサービスを開始しました。

このデジタルサイネージは、「だれでも、安心して街歩きができること」を目的に設置した観光案内標識です。今年度は新宿・上野エリアにそれぞれ2箇所ずつ設置いたしておりますので、お近くにお立ち寄りの際には、是非ご利用ください。

【主な特長】

- 周辺の観光スポットや乗換案内などのクイック検索
- 各スポットへの徒歩ルート、バリアフリールートを案内
- 旅先で困った時の役立つ情報を提供
- スマートフォンとも連携
- 無料Wi-Fi「FREE Wi-Fi & TOKYO」に接続可能
- 災害時には、避難場所等の情報を提供

（観光インフラ整備課）

宿泊施設への補助金の募集について

大きく増加している東京を訪れる外国人旅行者に向けて、受入環境の整備に取り組む宿泊事業者に対し、費用の一部を補助します。今年度は対象メニューが拡大しましたので、この機会にご活用ください。

1 宿泊施設の外国人旅行者受入環境整備支援補助金

- (1)補助対象者 都内の民間宿泊事業者
- (2)補助対象経費 外国人旅行者受入対応の強化に係る事業（施設の案内表示、パンフレット等の多言語化、国際放送設備の整備、クレジットカード決済端末の導入など）、又は無線LAN環境の整備に要する経費
- (3)補助額 補助対象経費の2分の1以内で、以下の額を限度
 - i 外国人旅行者受入対応の強化に係る事業 200万円
 - ii 無線LAN環境の整備 75万円
 ※1か所当たり15,000円以内、1施設当たり最大50か所
- (4)募集時期 平成28年4月1日から平成29年3月31日まで（ただし、補助金申請額が予算額に達した時点で受付終了）

2 宿泊施設バリアフリー化支援補助金

- (1)補助対象者 都内の民間宿泊事業者
- (2)補助対象経費 バリアフリー化を推進するための、施設整備（改修等）やコンサルティングに要する経費
- (3)補助額 補助対象経費の2分の1以内で、以下の額を限度
 - i 施設や設備のバリアフリー化整備（改修等）500万円
 - ii ユニバーサルデザインルームの改修 700万円
 - iii コンサルティング 25万円
 ※ただし、複数の補助を合わせて受ける場合には以下の限度額
 - ①上記iとiii 500万円
 - ②上記iiとiii 700万円
- (4)募集時期 未定

詳細については、下記担当までお気軽にお問い合わせください。

（問合せ先）

観光インフラ整備課 TEL: 03-5579-8463
E-mail: infra@tcvb.or.jp

平成27年度「交流の集い」大盛況にて開催

2月9日に賛助会員相互の交流を目的とした会員情報交換会「交流の集い」をリーガロイヤル東京にて開催し、過去最大の241名に参加いただきました。講演会第一部では、東京都オリンピック・パラリンピック準備局連絡調整担当部長岡安雅人氏、第二部では、公益財団法人日本サッカー協会キャプテン川淵三郎氏にご講演いただき、懇親会会場やロビーではおもてなしロボットがデモンストレーションを行うなど、会員相互の交流の場を盛り上げました。



評議員交代のお知らせ

平成28年3月30日付で評議員が交代

選任 白井 岩仁（一般社団法人東京諸島観光連盟 会長）
大隅ヴィクター勝利
（株式会社プリンスホテル 執行役員）

辞任 （平成28年1月1日付）
清水 勝彦（一般社団法人東京諸島観光連盟 前会長）
徳永 清久（株式会社プリンスホテル 執行役員）

任期 平成30年度に関する定時評議員会の終結の時まで
理由 評議員の辞任に伴う新たな評議員の選任

新 会 員 紹 介

株式会社テレコムスクエア <http://www.telecomsquare.co.jp/>

事業内容：

- ・日本および世界各国のWi-Fiルーター、SIMカード、携帯電話などのレンタル
- ・販売・24時間365日多言語コールセンター
- ・国内20箇所の空港カウンター
- ・世界7カ国での営業展開

株式会社ラテラ・インターナショナル <http://www.laterra-intl.co.jp/>

事業内容：日本人向けアウトバウンド、訪日外国人向けインバウンドのガイドブックを制作し、国内外の旅行会社にて配布。国内はほぼ全て、海外はアジアを中心に約100の旅行会社と流通ルートを構築。

イオンリテール株式会社 <http://www.aeonretail.jp/>

事業内容：世界14か国に広がるイオングループ。その中核を担っているのが、当社「イオンリテール」。全国の店舗「イオン」をはじめ545舗（2014年8月時点）を運営する、日本No.1の総合小売業。

パナソニックシステムネットワークス株式会社

<http://panasonic.co.jp/avc/psn/ssj/>

事業内容：パナソニックグループが培ってきた画像処理技術や通信技術を核とした映像・情報機器等の商品群で、お客様に高い付加価値をお届けすることを目指す。

株式会社ブックビヨンド（学研ホールディングス）

<http://www.bookbeyond.co.jp/>

事業内容：学研グループを中心に電子書籍化を行うとともに、各電子書店に配信。また、電子ブックを簡単に作成し、ライブラリー形式で配信・販売できるwook（ウック）を提供。

株式会社Card Map <http://chinacardmap.com/company/>

事業内容：

- ・「ChinaCardMap」の運営管理
- ・スマートフォン向け広告・宣伝に関する企画、制作及び実施
- ・スマートデバイス向けアプリケーション及びシステム開発
- ・WEBアプリ開発など・前各号に付帯するコンサルティング業務

フォレスト・イン・昭和館 <http://www.showakan.co.jp/>

事業内容：昭島市の所有地（約40万坪）に於いて、輸送用機器製造事業、ホテル、ショッピングセンター、昭和の森ゴルフコース、昭和の森テニスコート等のスポーツ施設の運営並びに不動産賃貸事業等を展開。

ぴあ株式会社 <http://corporate.pia.jp/>

事業内容：各種イベントのチケット販売、興行ソリューション、レジャーMOOKの刊行、WEBメディア運営。インバウンド領域では日本航空共同発行の「日本達人」等のメディア事業、外国人誘客コンサルティング全般を行う。

サイトエンジン株式会社 <http://www.siteengine.co.jp/>

事業内容：訪日情報サイトJapanListを運営。月間159万PVで、閲覧者のうちタイ人が80%以上。タイ人が見る訪日情報サイトとして最大。

●今後の事業予定●

台湾の旅行博に出展（TTE）	5月20日～23日
韓国の旅行博に出展（ハナツアー博）	6月9日～12日
海外市場セミナー、市場別相談会	6月2日

【発行元】

公益財団法人 東京観光財団
〒162-0801 東京都新宿区山吹町346番地6 日新ビル
TEL: 03-5579-2680 FAX: 03-5579-2685
www.tcvb.or.jp E-mail: tcvbinfo@tcvb.or.jp

■本会報に関する
お問合せ先

総務部観光情報課：TEL 03-5579-2681

■会報送付の追加、停止、
送付先変更の連絡

memberinfo@tcvb.or.jp